

事業名称	産学官連携による空き家活用コーディネーター育成及び相談窓口構築事業
事業主体名	佐渡市
連携先	・(株)LIFULL ・(株)三友システムアプレイザル ・空き家調査員育成プロジェクト協議会
対象地域	新潟県佐渡市
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用コーディネーターの育成 ・空き家相談窓口の構築 ・空き家トリアージの実施およびマニュアルの作成 ・空き家対策セミナーの開催 ・全国版空き家バンクの活用
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題、利活用に関心が高い人材として佐渡市地域おこし協力隊の中から2名を選出し、専門の育成カリキュラムを受講してもらい「空き家活用コーディネーター」として養成。 ・宅建事業者、建築業者、空き家調査員など空き家に精通した地域の専門家との連携・相談体制の構築を検討し、空き家相談対応から利活用希望者マッチングまでのフロー図を作成。 ・相談メニューの中に空き家の状態を市場性、安全性の観点から分類する「空き家トリアージ」の手法で活用提案ができる仕組みを検討しマニュアルを作成。 ・空き家所有者、利活用希望者への啓蒙、相談を促すため市内では初めてとなる空き家対策セミナーを開催。空き家の発生要因や流通障害要因、適正な管理方法等の基礎的な知識を得るとともに、全国的な活用先進事例も学習した。 ・空き家対策セミナーと併せ、市内宅建協会、司法書士会の協力による個別相談会を開催。 ・全国版空き家バンクを活用し、情報発信の間口を広げ空き家所有者へのPR及び利活用希望者からの問い合わせ増加を図る。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの人材育成及び空き家相談時の窓口構築 ・空き家所有者への啓蒙活動 ・空き家情報発信の強化（空き家成約数 R3 年度：37 件（R4.2 末現在））
成果の公表方法	佐渡市移住交流推進課のホームページで公表（予定）
今後の課題	・空き家活用だけでなく UI ターン者の受入促進や、人材マッチング育成事業を一本化し、空き家活用のさらなる推進を図る。

1. 事業の背景と目的

佐渡市の高齢化率は、既に 40% を超え、島周辺部の過疎化や地域コミュニティの低下が進むとともに、住宅数約 29,300 軒のうち約 4,800 軒もの空き家が点在している。一方で、日本初となる世界農業遺産（GIAHS）に認定され日本で唯一トキと共生する豊かな環境を有し、佐渡特有の伝統文化が各地で継承されており、佐渡島の金山が世界文化遺産の推薦決定を受けるなど多様な地域資源にも恵まれている島でもある。

コロナ禍により都市部から地方移住への関心の機運が高まる中、令和 2 年度は 504 名もの UI ターン者を受け入れた。当市では移住相談をはじめ、移住者のネットワークづくりなど移住者の受入からアフターフォローを推進しているが、空き家所有者からの相談・利活用など居住の確保に対応する体制

は構築されていない。このことから、連携協定を締結している企業をはじめ空き家に精通した地域の専門家との連携体制を構築し、空き家活用のコーディネーターを育成するとともに、空き家の相談窓口を設置することで移住検討者の住まい探しのサポート、空き家所有者にむけての空き家の利活用提案などを図ることとした。

更には、空き家と共に付随する農地や山林の活用や処分方法についても大学とも連携し、解決策を検討することで、市内空き家率の低下とあわせて耕作放棄地の減少や山林の適正管理による里山の保全と災害防止機能の維持についても議論することとした。

2. 事業の内容

(1) 事業の概要と手順

令和4年度の運用を見据え、本年度は体制構築に向けて、交付決定から事業終了までの間の事業の内容として手順を以下のように進めた。

表1 取組フロー図

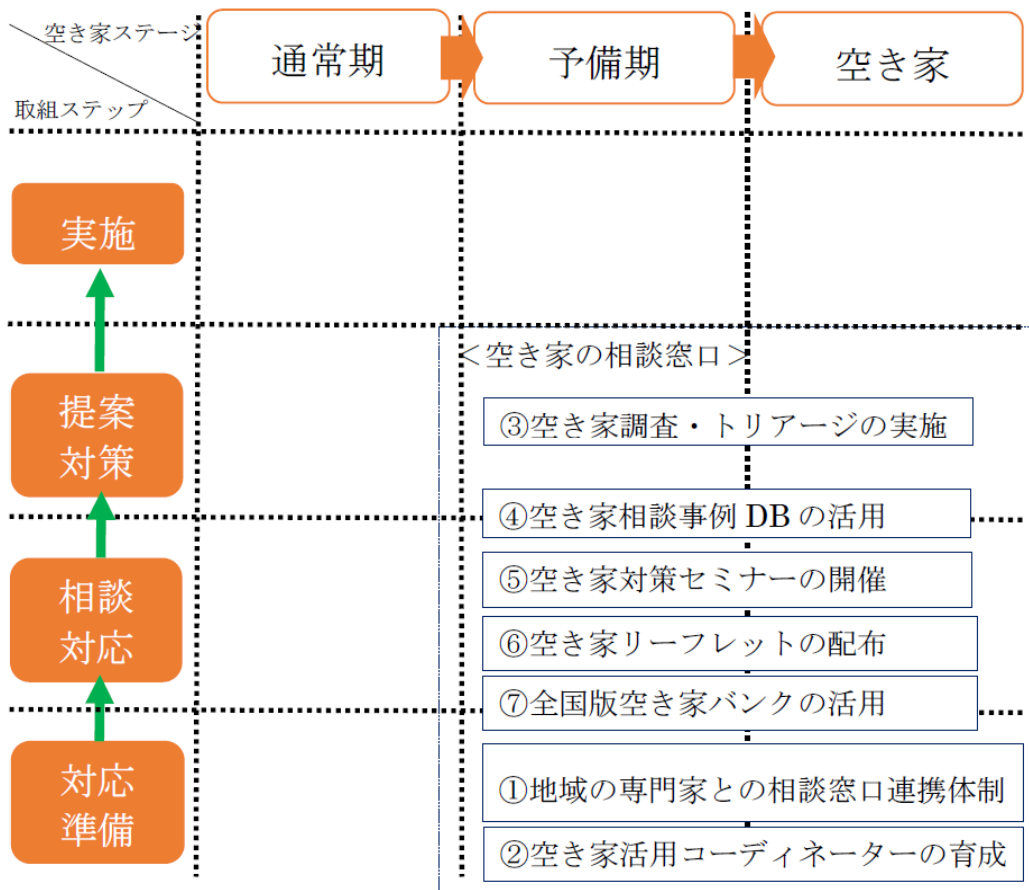


表2 取組スケジュール

取組内容	具体的な内容（小項目）	令和3年度							
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 地域の専門家の 連携体制構築	スキーム構築作業および検討会の開催				—	—	—	—	
	空き家活用コーディネーター（相談員）の選定		—						
② 相談員の育成	空き家活用コーディネーター（相談員）の育成			○		○		○	
	検討会			○ ○		○ ○	○	○	
③ 空き家調査・トリ アージの実施	空き家調査				—				
	トリアージ作成					—			
	空き家相談窓口総合サポートの活用				—	—	—	—	
④ 相談事例DB	セミナーの企画			—					
	セミナー・相談会の開催					○			
⑤ 空き家対策セミ ナーの開催	窓口での設置や配布	—	—	—	—	—	—	—	
	登録準備		—	—	—				
⑥ 空き家リーフレッ トの配布	掲載				—	—	—	—	
	登録準備		—	—	—				
⑦ 全国版空き家バ ンクの活用	掲載				—	—	—	—	
	登録準備		—	—	—				

表 3 役割分担表

取組内容	具体的な内容（小項目）	担当者（組織名）	業務内容
地域の専門家との連携体制構築	スキーム構築作業および検討会の	(株) LIFULL	・ 宅建事業者、建築業者など空き家に精通した地域の専門家と連携・相談体制のスキームを構築するため検討会を開催
相談員の育成	空き家活用コーディネーター（相談員）の選定	佐渡市	・ 空き家問題、利活用に関心がある人材の選出
	空き家活用コーディネーター（相談員）の育成	(株) LIFULL	・ 育成プログラムをオンラインにて実施
空き家調査・トリアージの実施	検討会	佐渡市 空き家調査員育成プロジェクト協議会 (株) 三友システム アプレイザル	・ 物件選定に係る検討会と現地調査の実施やトリアージ物件の選定
	空き家調査	空き家調査員育成プロジェクト協議会 (株) 三友システム アプレイザル	・ 選定した空き家に対しての調査を実施
	トリアージ作成	空き家調査員育成プロジェクト協議会 (株) 三友システム アプレイザル	・ 調査済の空き家物件に対しトリアージを実施 ・ トリアージ実施マニュアルの作成
相談事例DBの活用	空き家相談窓口総合サポートの活用	(株) LIFULL	・ 個々の相談解決や全国の相談事例を収集し窓口に活用
空き家対策セミナーの開催	セミナーの企画	佐渡市 (株) LIFULL 空き家調査員育成プロジェクト協議会	・ 講演内容の企画、開催案内、会場の確保
	相談会の開催	宅建協会 司法書士協会 土地家屋調査士会	・ セミナーにあわせ個別相談会を開催し市内の空き家解消を図る
空き家リーフレットの配布	窓口の設置や配布	佐渡市	・ リーフレットを印刷・配布し、空き家予備軍への早期啓蒙を図る
全国版空き家バンクの活用	登録準備	佐渡市	・ 全国版空き家バンクへ市内空き家情報の登録準備を進める
	掲載	佐渡市	・ 全国版空き家バンクへ市内空き家情報の掲載を行う

(2) 事業の取組詳細

①地域の専門家との連携体制構築

データベース構築、協力会社リスト作成に関する検討を重ね、庁内のデータベース構築案、庁内連携案を作成するとともに宅建事業者、建築士会、空き家調査員育成プロジェクト協議会、(株)三友システムアプレイザルなど空き家に精通した地域の専門家との連携・相談体制のスキームを構築するため検討会も開催（12月）した。

図1 庁内データベース構築案

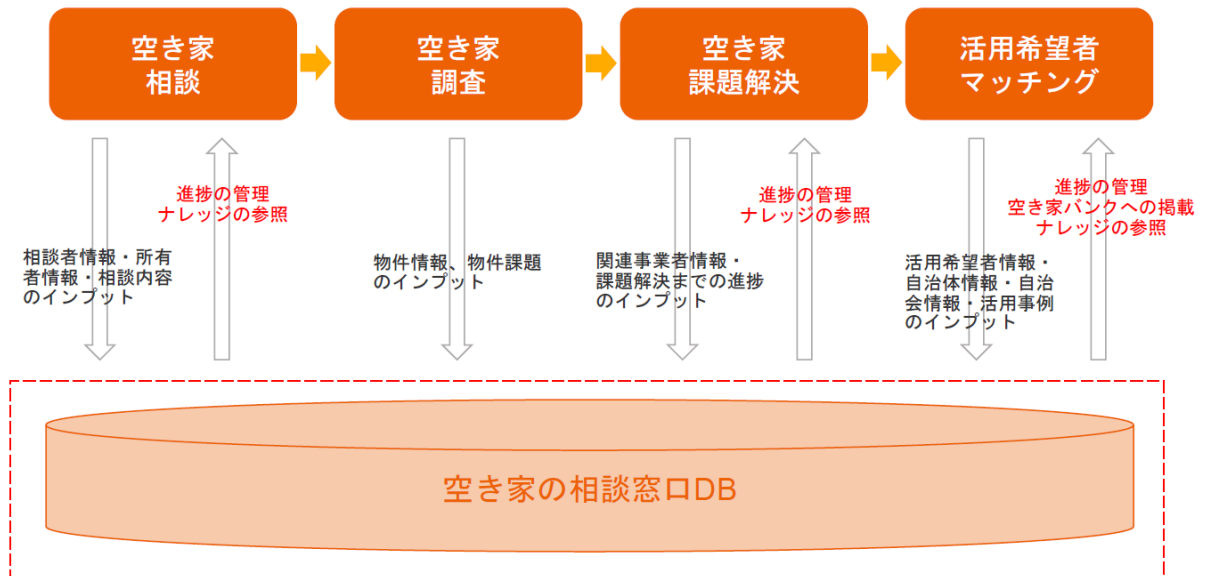
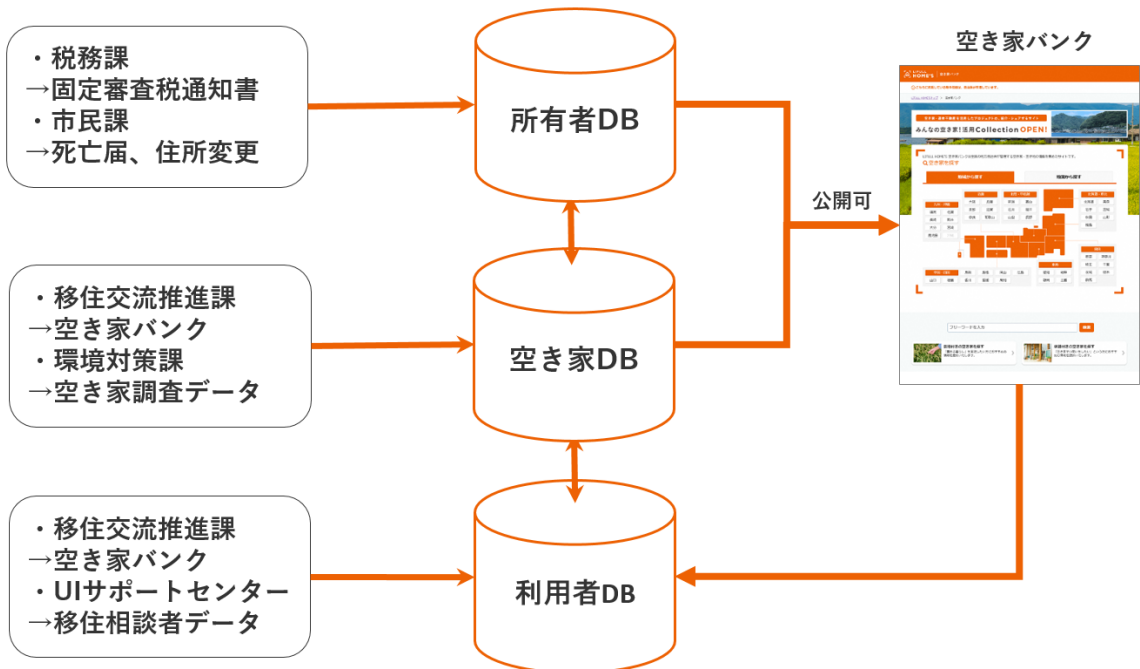


図2 庁内連携案



②空き家活用コーディネーターの育成

(i) 空き家活用コーディネーターの選定については、空き家問題、利活用に関心のある人材として現在佐渡市地域おこし協力隊として任期中の2名を選出。

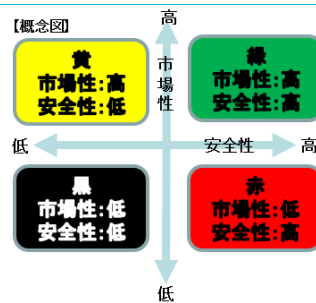
(ii) 空き家活用コーディネーターの育成については、昨年度、本市と連携協定を締結した(株)LIFULLの「空き家の相談員育成カレッジ」を利用。(受講期間:10月、12月、2月)空き家に関する基礎的な知識から応用的なノウハウ、さらにはまちづくりやローカルビジネスの構築に関する知識についても受講等、空き家利活用に関する幅広い知識の習得を図った。

③空き家調査・トリアージの実施

令和元年度に本市と連携協定を締結している(株)三友システムアプレイザルが提唱している空き家トリアージを市内の空き家調査員育成プロジェクト協議会メンバーで実施できるよう試験運用を行った。

図3 空き家トリアージの概要

空き家トリアージとは...
(株)三友システムアプレイザル
提唱の仕組み
市場性と安全性を加味し4つの
分類から、分類に応じた提案を行う



空き家調査を実施し、
・市場性が高く、流通可能⇒「**緑**」
・改修・リフォーム等を施すことで流通可能⇒「**黄**」
・安全・衛生上問題ないが市場性が低く流通不可⇒「**赤**」
・安全・衛生上問題があり、且つ市場性が低く、取り壊しが必要⇒「**黒**」

検討会については、6回開催し、物件の選定から空き家調査員育成プロジェクト協議会メンバー内でトリアージを行うためのマニュアルまで作成した。物件の選定については、移住者の受入や空き家問題に関心の高い集落から5軒選定し、うち3軒に対してトリアージを実施した。検討会の中で、法政大学：図司直也教授からも参加いただき農地・山林の活用及び処分方法についても検討を行った。

■第1回空き家トリアージ検討会（10月6日～7日）

本市で選定した空き家5軒のうち、3軒について現地確認を行い所有者からのヒアリングを行った。

■第2回空き家トリアージ検討会（10月15日～16日）

法政大学：図司教授に参加いただき、中山間地域として空き家改修を行った地域や、耕作放棄地や山林の活用に取り組んでいる集落を視察した。農地・山林の問題については所有者個々の問題だけではなく、集落・地域全体として取り組むべき問題と議論が進められた。

写真1 検討会、現地確認の様子





■第3回空き家トリアージ検討会（12月1日～2日）

選定した空き家5軒のうち残りの2軒を現地確認。確認時には調査シートを確認するとともに調査アプリを利用し入力内容等を確認した。

図4 現地調査シート

空き家調査シート (不動産調査)

調査日:

空き家調査表		管理番号 10000000	発行日: 2021年11月6日
ご依頼主: 様			
空き家調査シート(不動産調査)		調査日: 2021年11月5日	
集落・地区名: <input style="width: 100%;" type="text"/>			
不動産概要	土地	所在地番: <input style="width: 50%;" type="text"/> 合計筆数: <input style="width: 20%;" type="text"/> 居住表示: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
		登記面積: <input style="width: 50%;" type="text"/> m 代表地目: <input style="width: 20%;" type="text"/> 権利の種類: <input style="width: 20%;" type="text"/> 土地所有者: <input style="width: 20%;" type="text"/> 持分: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
	建物	家屋番号: <input style="width: 50%;" type="text"/> 建物の種類: <input style="width: 20%;" type="text"/> 増改築: <input style="width: 20%;" type="text"/> 建物所有者: <input style="width: 20%;" type="text"/> 持分: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
		延床面積: <input style="width: 50%;" type="text"/> m 建築年月日: <input style="width: 20%;" type="text"/> 構造: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
行先・インフラ調査	都市計画区域等	用途地域: <input style="width: 20%;" type="text"/> 建ぺい率: <input style="width: 20%;" type="text"/> % 容積率: <input style="width: 20%;" type="text"/> % その他: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
	主な接道	敷地の側道: <input style="width: 20%;" type="text"/> m 幅員: <input style="width: 20%;" type="text"/> m	
	交通	バス停・港: <input style="width: 20%;" type="text"/> まで 約 <input style="width: 20%;" type="text"/> m (道路距離)	
	ライフライン	上水道: <input style="width: 20%;" type="text"/> 公共下水: <input style="width: 20%;" type="text"/> 都市ガス: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
	現況および地目が「農地」である地帯を含む場合	農地法許可の可能性: <input style="width: 20%;" type="text"/> 農地法許可の状況: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
	森林法	該当有りの場合、その種類: <input style="width: 20%;" type="text"/>	
	買入れ物	<input style="width: 20%;" type="text"/> m (道路距離) <input style="width: 20%;" type="text"/> m (道路距離)	
	病院・薬局	<input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>) <input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>)	
	銀行・郵便局	<input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>) <input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>)	
	学校・保育園	<input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>) <input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>)	
公共施設	<input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>) <input style="width: 20%;" type="text"/> m (<input style="width: 20%;" type="text"/>)		
防災・環境調査	排水	<input style="width: 20%;" type="text"/>	
	雨水出水	<input style="width: 20%;" type="text"/>	
	高潮	<input style="width: 20%;" type="text"/>	
	土砂災害	<input style="width: 20%;" type="text"/>	
	地震	<input style="width: 20%;" type="text"/>	
特記事項	[地域環境、景観、騒音振動、敷地内景観、安全性、インターネット環境等]		
	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>		
	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>		
	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>		

■第4回空き家トリアージ検討会（12月27日）

5軒の空き家調査結果を共有し、トリアージの検討を行った。検討においては、地元工務店からも参加いただき建築分野の目線からの意見も頂戴した。

表 4 空き家調査結果

物件	築年	写真	住所	築年	構造	延床	用途	用途	都市計画				用途		都市計画		用途		計画	都市計画			用途	平均㎡	
									用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途	用途		用途	用途				
①	R3.10.7	第一区 317㎡(2階建て) で内装	佐渡市 新井町 1015㎡	木造 2階建	S44.3.28	無	可	建築基準 法上道路 への接道 要件を満 たす。	都市計画 用途地区 非線引 都市計 画区域 外	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
									用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
②	R3.10.7	第一区 317㎡(2階建て) で内装	佐渡市 新井町 1477㎡	木造 平屋建	年月日不詳	無	可	—	都市計画 用途地区 非線引 都市計 画区域 外	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
									用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
③	R3.10.7	第一区 317㎡(2階建て) で内装	佐渡市 多田町上町 209㎡	木造 2階建	年月日不詳	無	条件 付き 可	建築確認	都市計画 用途地区 非線引 都市計 画区域 外	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
									用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
④	R3.12.2	第三区 317㎡(2階建て) で内装	佐渡市 55+7号地 1023㎡	木造 2階建	年月日不詳	無	可	—	都市計画 用途地区 非線引 都市計 画区域 外	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
									用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
⑤	R3.12.2	第三区 317㎡(2階建て) で内装	佐渡市 豊根大 407㎡	木造 平屋建	年月日不詳	無	条件 付き 可	裏庭を損 なわない 対応が必 要	都市計画 用途地区 非線引 都市計 画区域 外	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途
									用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途	用途 用途

■第5回空き家トリアージ検討会（1月19日）

第4回で検討を行ったトリアージの最終結果の確認のほか、今後、市内空き家調査員育成プロジェクト協議会メンバーでトリアージが実施できるよう運用マニュアルについても意見交換し確認を行った。

図5 トリアージ結果（一部抜粋）

物件○

【物件写真】



【所在地図】



【物件情報】

※空き家調査報告書の結果に基づく

所在	佐渡市○○○
交通	佐渡汽船 両津港 12.940m
土地	都市計画 非線引都市計画区域
	接道 西側 市道 7.9m
画地条件	中間画地・長方形 面積約356㎡
建物	築年 昭和44年3月28日
	構造・延床積 木造2階建 延床約148㎡
特筆事項	離れた場所に農地あり

【空き家トリアージ所見】

現状空き家トリアージ判定	黄
即時売却が可能	
立地条件が良く、幅広い年齢層の需要が期待可能。購入者によるリフォームを前提として即時に売却可能。修繕実施後の賃貸手残りでは55万円の利益を計上可能。	
修繕実施後のトリアージ判定	緑

【試算結果】

※シナリオ別試算シートの結果に基づく

路線価	16.0千円/㎡	
各種コスト	10年保有コスト 現状維持	1,010千円
	取壊し費用	920千円
	修繕費	2,220千円
現状売却の想定手残り額	4,030千円	
10年間の賃貸収支-修繕費	220千円	
その他		

高市場性

低 ← 安全性 → 高

低 ← 高

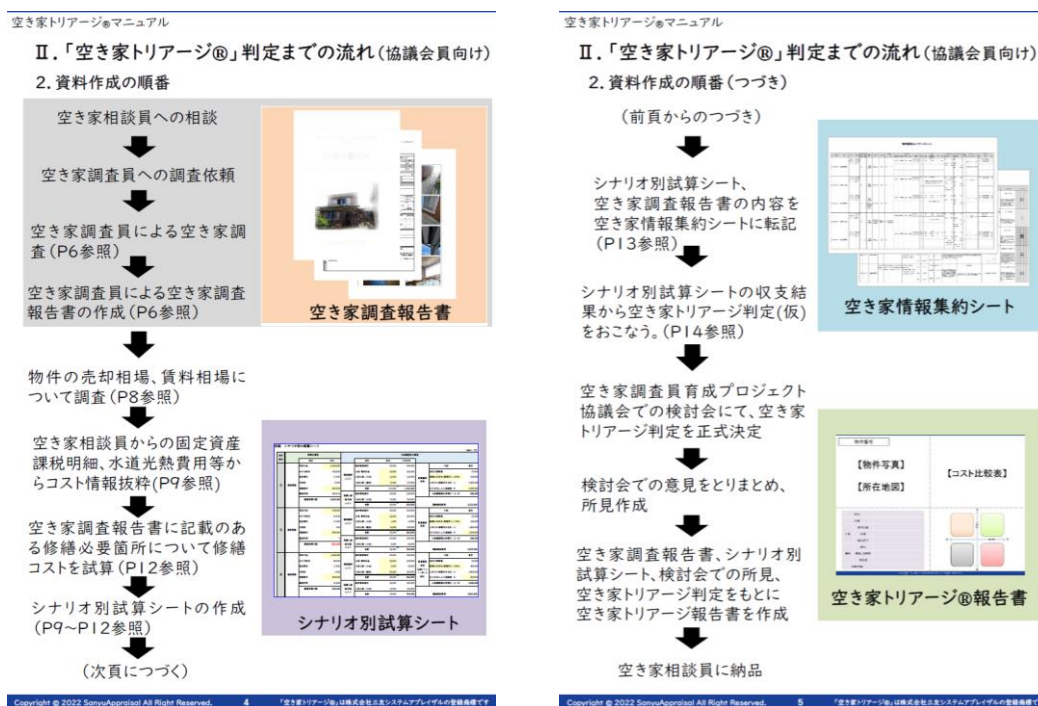
そのま流通可能

低

■第6回空き家トリアージ検討会（2月14日）

トリアージ運用マニュアルについての最終確認を行った。マニュアルには修繕費等の例示を追加することで空き家の調査結果を元に、10年間の保有コスト、売却想定額、取り壊し費用、修繕費等からトリアージ判定が可能なものとして作成した。

図6 空き家トリアージマニュアル（一部抜粋）



④相談事例 DB の活用

空き家の活用等の課題解決に役立つ全国の事例の収集や専門のサポートスタッフからの助言を参考に、空き家に関する問合せに対応するとともに、空き家活用コーディネーターをはじめ、関係者が空き家問題に精通することで、将来的な空き家活用を推進することを目的として、(株)LIFULL 提供の「空き家相談窓口総合サポート」を利用した。

⑤空き家対策セミナーの開催

空き家の所有者や利活用希望者への啓蒙および相談を促すために、市内では初となる空き家対策セミナーを開催した。セミナーでは空き家の発生要因や流通障害要因、適正管理の方法等の基礎的な知識の習得を行うとともに、全国的な活用先進事例を学ぶものとして企画した。登壇予定であった NPO 法人空き家コンシェルジュ有江様は荒天のため、新潟市からオンラインで繋ぎ実施となったがセミナーには 37 組 38 名の方が参加した。セミナー終了後に開催した個別相談会には、市内宅建協会、司法書士会の会員を相談員として 9 組の相談を実施した。

⑥空き家リーフレットの配布

空き家所有者本人だけでなく家族及び親族への啓蒙の一環として、既存の空き家の処分・活用に関するリーフレットを空き家対策セミナーはじめ、移住相談窓口だけではなく市民課及び税務課の窓口にも設置し空き家予備軍への早期啓蒙を図った。

図 8 既存の空き家に関するリーフレット各種



⑦全国版空き家バンクの活用

多数の自治体が参画している全国版空き家バンクに当市の空き家情報を11月下旬より掲載。既存の佐渡市空き家バンクと併用して稼働することで情報発信の間口を広げ、空き家所有者へのPR及び利活用希望者からの問い合わせ増加を図った。

(3) 成果

- ・コーディネーターの人材育成及び空き家相談時の窓口構築について

コーディネーターを人材育成し空き家に関する相談窓口を設置する準備を整えた。相談体制についてはフローを作成し、相談シートを活用しながら空き家所有者からヒアリングを実施し所有者の個々の意向に応じて本市運営の空き家バンクへの取り次ぎのほか、解体・家財処分における一括見積の案内、活用・処分を提案する空き家トリアージのメニューも組み込んだ。空き家トリアージについては試験運用の実施とマニュアルを作成することで空き家調査員育成プロジェクト協議会が判定を行える体制を整えた。空き家問題に対する相談窓口が一本化されるとともに、資格や知識を有する地域の専門家との連携により空き家の活用や流通の促進につながる事が期待できる。

図9 相談窓口フロー図

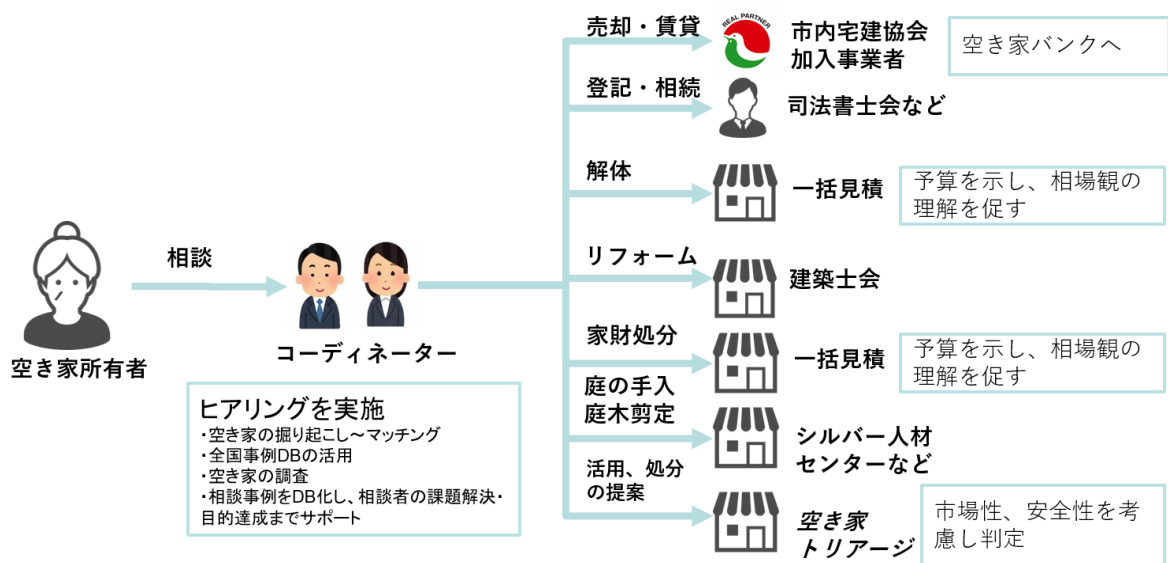


図10 空き家トリアージマニュアル

空き家トリアージ®マニュアル

令和4年2月

令和3年度 国土交通省住宅局
「住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」
【部門1 空き家に関する相談窓口等の民間連携を行う事業部門】
産学官連携による空き家活用コーディネーター育成及び相談窓口構築事業

空き家トリアージ®マニュアル

本マニュアルを利用する方へ

株式会社三友システムアレイザルが作成した空き家トリアージ®マニュアル（以下、総称して「本マニュアル」という。）を利用する者または閲覧するすべての者（法人または個人を問わない。以下、「利用者等」という。）は、以下の記載事項を理解し、同意されているものと看做します。

- 本マニュアルは、令和3年度 国土交通省住宅局（住宅市場を活用した空き家対策モデル事業）【部門1 空き家に関する相談窓口等の民間連携を行う事業部門】産学官連携による空き家活用コーディネーター育成及び相談窓口構築事業に基づき、佐賀市「空き家調査員育成プロジェクト協議会」における空き家トリアージ®を実施する目的で作成されたものであり、本マニュアルの中に、将来の予測及び見込み等が含まれる場合についてはその実現可能性において当社はなんら責任を負いません。
- 本マニュアルは、空き家トリアージ®の判定だけを目的として作成されたものである。よって、当社は、利用権等に対して、本マニュアルおよび利用権者と空き家調査員育成プロジェクト協議会への相談書（所有権等権利関係を含む）間の取引等に關して、如何なる責任や義務も負いません。
- 本マニュアルの作成にあたって当社が提供した情報は、提供された資料及び独自に収集した資料ならびにヒアリング等に基づく。当社はこれら情報の真実性、正確性、妥当性について保証しない。また、本マニュアルの作成にあたって提供された手続書は、金銭・税務・法務・鑑定評価等に必要手続きとは異なるものであり、換出事項・判定事項は、同意見には該当しない。
- 利用権等は、当社の事前の書面による承認なく本マニュアルを第三者に開示、本マニュアルおよび記載内容の全部または一部を複製または引用等する権利を有するものではないこと、本マニュアルを善良なる管理者の注意義務を以て管理することを了解するものとする。
- 当社および当社が管理する政府機関・大学・研究機関・企業、ならびにそれらのパートナー、役員、職員および代理人に対して、本マニュアルに關して生じた損害賠償請求または費用償還請求等を一切行わないこと。また、本マニュアルの記載事項についての問い合わせは当社及び当社が連携する政府機関・大学・研究機関・企業、ならびにそれらのパートナー、役員、職員および代理人に行うことはできないことを了解するものとする。
- 上記は、当社から本マニュアル以外に開示された情報や資料についても同様の扱いとする。

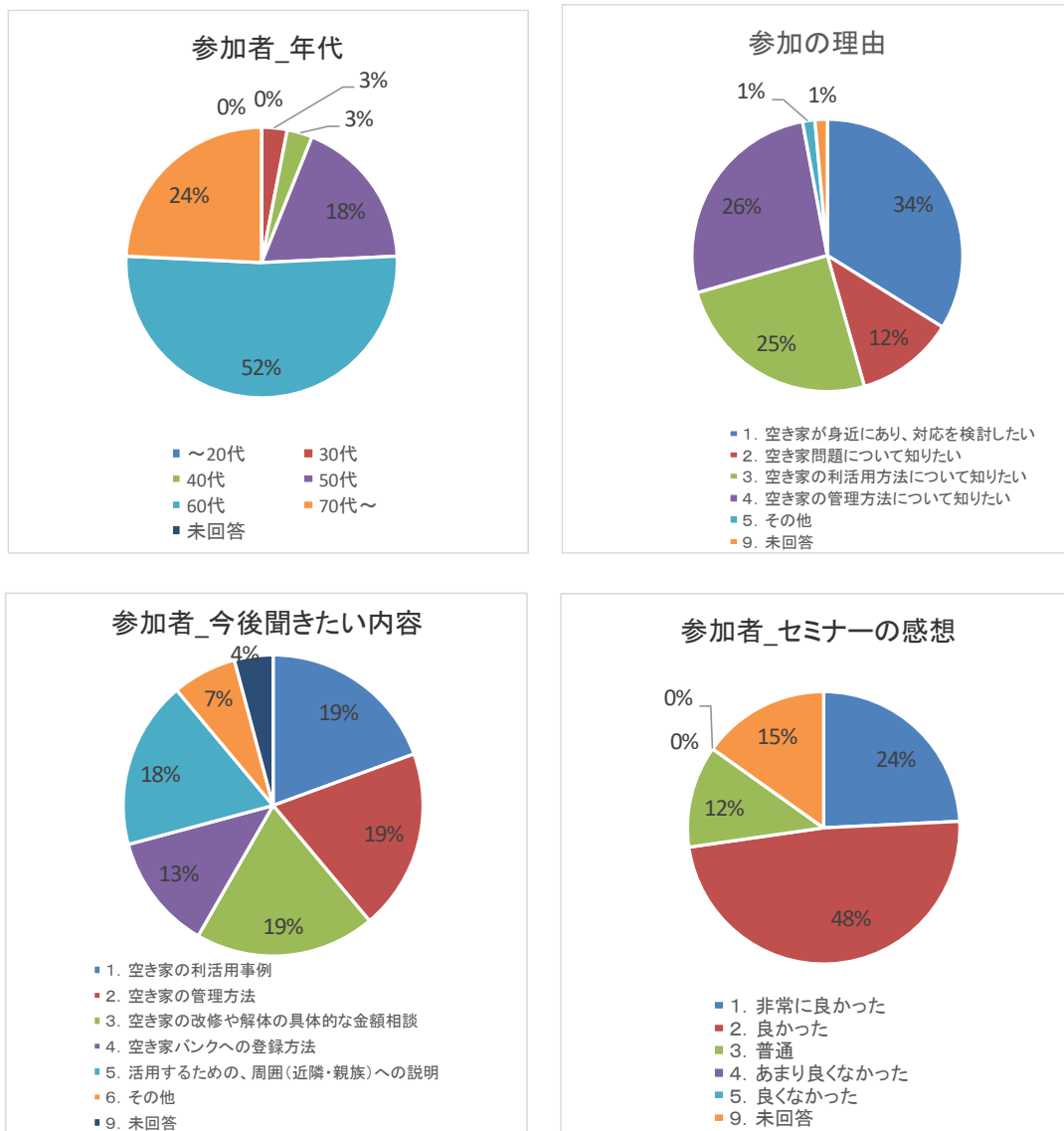
空き家調査員育成プロジェクト協議会
佐賀市での事業実施形態(案)

Copyright © 2022 SanyuAppraisal All Right Reserved.

・空き家所有者への啓蒙活動について

空き家対策セミナーの参加者より回答いただいたアンケートの結果は図 11 のとおりであった。セミナー参加者の年代では、60 代以上の参加者が 75%以上を占め、参加理由については、空き家を所有し、利活用や管理方法について知りたいという要望が多かった。今後聞きたい内容としては、利活用事例や管理方法のほか具体的な修繕費、解体費の金額相談についても要望が多いことが把握できた。セミナー全体についても感想として約 75%から良かったと好評を得ることができ、関心のある層に様々な情報提供をすることができた。

図 11 セミナーアンケート結果



・空き家情報発信の強化について

情報発信の強化した結果、今年度は令和 4 年 2 月末現在、空き家バンク成約数が 37 件（昨年度同時期 33 件）となった。

3. 評価と課題

育成した 2 名の空き家活用コーディネーターについては、地域おこし協力隊の任期中である

ことから退任までの間は、佐渡市移住交流推進課をメインの窓口とし、コーディネーターと連携しながら空き家活用を推進していく。

全国に散らばる空き家の所有者への啓蒙活動や相談体制の周知の効果的な周知の方法については課題が残った。

4. 今後の展開

空き家の相談窓口は空き家活用だけではなく UI ターン者の受入促進やフォロー体制、移住者を中心とした島内における就業等の人材マッチング・育成事業を含むこれらすべてを一本化した中間支援組織として設立し、今回構築した地域の専門家との連携体制を維持しながら空き家活用のさらなる推進を進めていく。

空き家の掘り起こし、啓蒙活動については空き家対策セミナーが好評を得たことから空き家の利活用を進める上で効果的であると捉え、次年度以降も開催していきたい。空き家問題については、所有者個々の問題だけではなく農地・山林も含めて集落や地域での取組が必要であることから会場をコンパクトにし、地域・集落単位でのセミナー・相談会を実施することで空き家の掘り起こしができるよう検討していく。

■事業主体概要・担当者名			
設立時期	—		
代表者名	佐渡市長 渡辺 竜五		
連絡先担当者名	佐渡市移住交流推進課移住交流推進係 遠藤武志		
連絡先	住所	〒952-1292	新潟県佐渡市千種 232 番地
	電話	0259-67-7153	
ホームページ	https://www.city.sado.niigata.jp/site/ijyu/		